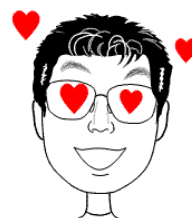


豊庄だより



第 529 号 2018 年 8 月 20 日

ずっと前から 2018 年 8 月 24 日を迎える「豊庄だより」にはこのことを書こうと思っていました。その時がついに来ました。なにやら騒々しい書き出しになりましたが、それはビートルズのアルバム

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



「サージャント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」の 9 曲目（LP では B 面の 2 曲目）に収められている「When I'm Sixty-Four」という曲のことで。わずか 2 分半くらいの曲ですが、訳すと「僕が 64 歳になっても」でしょうか。私も、とうとうその歳になってしまいました。初めてこの曲を聞いたのはもう 40 年近く前ですが、歌詞の中身は、「僕が 64 歳になっても、まだ僕を必要としてくれますか？まだご飯を食べさせてくれますか？」といった具合で…。64 歳なんてはるか向こうと思っていたのですが、必ずやって来るのですね。40 年前にはちょっととぼけた感じの曲ぐらいにしか思っていませんでしたが、いよいよその歳になったのかと思うと、感慨深いものがあります。（※「When」は

一般的には、「いつ」とか「～する時」という意味で使われますが、英和辞書をひくと、「～ならば」の意味も持ち、「もしも」の「if」を使うより確実性が強いと書かれていました。ポール・マッカートニーの詩にはこの意味が含まれています。）

この曲を作ったのはポール。発表したのはビートルズ解散間際の 1967 年ですが、曲のアイデアはポールがまだ 16 歳の時だったというから驚きです。しかも、歌詞の「Will you still need me, will you still feed me」の箇所は、「need（必要とする）」と「feed（食事を作って）」と韻を踏んでいるのには、さらに驚きです。ビートルズは次々とヒットを飛ばし、潤沢な資金を持ち、凝りに凝ったこのアルバムを作り上げました。曲もさることながら、アルバムのジャケットが秀逸です。マリリン・モンロー、ボブ・ディランからアインシュタイン、カール・マルクスまで有名人・著名人がいったい何人いることやら。CD だと小さくてごみごみしていますが、その点レコードはいいですね。しかも見開き。また、裏面にはなぜか一人だけ後ろ姿のポールとビートルズの他のメンバー、赤い下地にアルバムに入っている全曲の歌詞が全部書かれています。

このアルバムは、ポップミュージック史上最高の成功を収めたと言われていますが、私の個人的趣味としては、「ホワイトアルバム」や「アビーロード」の方が好きですけど、8 月 24 日は、ワインでも飲みながら、「When I'm Sixty-Four」を聞くことにします。

（※高木宏真『ジャズ批評ボックス ビートルズの音もっと知りたい』と『レコードコレクターズ増刊 ビートルズ名曲ベスト 100』の 2 冊を参考にしました。）

